

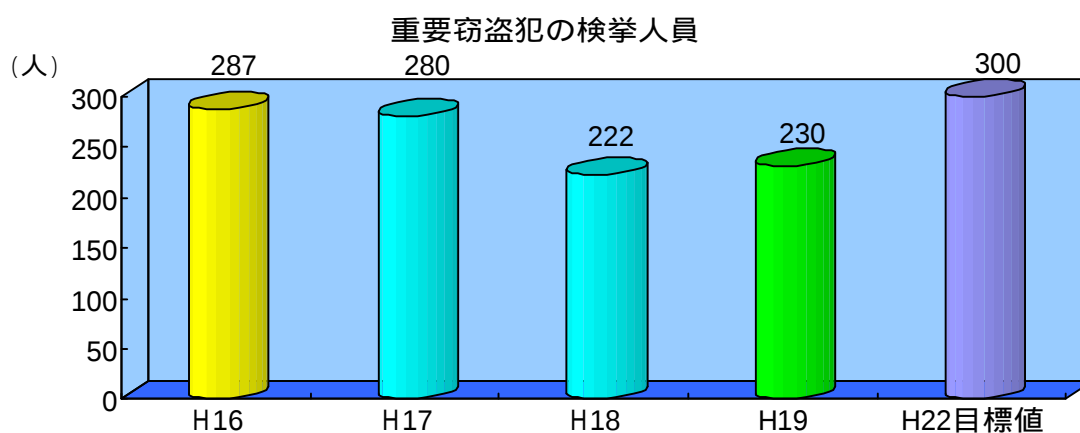
施策名 犯罪の徹底検挙と抑止のための活動強化

○ 目的（対象、意図）

複雑化、多様化する犯罪が、検挙その他の各種対策の強化により解決され、被害の拡大防止がはかられている

○ 施策の目標

目 標 項 目	目 標 数 値 等
重要窃盗犯の検挙人員	目標値
	22年
	300人
	現状値
	19年
	230人



○ 平成19年の業務ごとの取組、成果とコスト

業務の取組と成果	平成19年事業費(千円)	平成20年事業費(千円)
【サイバー犯罪対策の推進】 第一線の捜査員を対象としたサイバー犯罪対策専科を実施したほか、警察署に対するサイバー犯罪支援システムの一層の活用によりネットワーク利用犯罪29件を検挙した。	18,620	16,743
【ストーカー、配偶者暴力対策の推進】 ● ストーカー事案215件を認知し、ストーカー行為罪等での検挙12件、警告20件、援助41件を行ったほか、行為者に対する指導警告等の措置を講じた。 ● 配偶者からの暴力相談315件を受理し、保護命令違反、傷害等で10件を検挙、DV防止法による援助を36件実施したほか、被害者に対する被害防止措置、加害者に対する指導等の措置を講じた。	13,672	12,058
【初動警察活動の推進】 凶悪事件の発生に際しては、通信指令システムの効果的運用により、緊急配備を発令し、迅速な初動活動を実施して犯人の早期発見、検挙に努めた。	260,075	260,823

【生活環境犯罪対策の推進】 ●産業廃棄物（有機物残渣）の不法投棄事件で、関係府県と合同捜査協定を締結し捜査に着手した。 ●「ヤミ金融事犯集中取締本部」を中核に徹底した取締りを推進し、長年にわたり高金利で金銭の貸付けをして暴利を得ていた元消費者金融支店長を貸金業法、出資法及び組処法違反で検挙した。 ●悪質な風俗・雇用関係事犯の取締りを重点として取り組み、正規の風俗営業（２号）を仮装して、店内でホステスに売春をさせていた経営者等を売春防止法違反で検挙した。	20,884	19,163
【犯罪捜査活動の推進】 県民が強く不安を感じる重要窃盗犯について、組織的犯行や常習者に対する強化を重点的に実施した結果、重要窃盗犯の検挙人員は230人で前年と比べ８人増加し、検挙率も60.6%と高い水準を維持した。	306,736	286,501
【警備諸対策の推進】 法務省入国管理局との合同摘発を積極的に推進し、前年を上回る不法滞在外国人を検挙・摘発した。また、デモ行進等において、不測の事態を想定した治安警備実施を行い治安の確保に努めたほか、皇室や政府要人等に対する警衛・警護警備を実施し御身辺の安全確保を図った。	41,570	50,552

○業務評価を踏まえた総括評価

・目標達成に向けた平成19年の取組と成果

●パトロール強化や自主防犯活動への支援などによる犯罪抑止活動と迅速的確な初動捜査や科学技術を活用した捜査などを積極的に推進したことにより、刑法犯の認知件数は、25,964件と前年に比べ2,139件減少し、最多であった平成14年を境にして5年連続の減少となった。

- 犯罪情勢の質的变化に的確に対応するため、
 - ・ 知事部局等をはじめとする関係機関等との連携の強化
 - ・ 広報啓発活動の積極的な推進による県民の協力の確保
 - ・ 初動警察活動の強化のための持凶器等事案発生対応マニュアルの策定
 - ・ サイバー犯罪対策専科等各種教養の実施による捜査力の強化

などに取り組んだ結果、サイバー犯罪、生活経済事犯、環境事犯等の各分野において、検挙等の成果をあげた。

・残った課題とその要因

●刑法犯認知件数が平成15年以降5年連続して減少するなど、指数上では、一定の改善が認められるが、県民が強く不安に感じる重要犯罪、重要窃盗犯、振り込め詐欺などが依然として高い水準で推移しており、県民が肌で感じる治安の改善には至っていない。このようなことから、この種犯罪を重点的に抑止、検挙していく必要がある。

●犯罪自体が依然として悪質・巧妙化、複雑化またスピード化・広域化するなどの傾向を強めており、これら犯罪を上回る警察活動の推進を図る必要がある。

・課題を踏まえた平成20年の取組み

- 県民が肌で感じる治安を改善するため、
 - ・ 重要犯罪等に対する捜査力の確保
 - ・ 迅速・的確な初動捜査と現場捜査、鑑識活動の徹底
 - ・ 科学技術を活用した捜査の推進
 - ・ 他県警察との共（合）同捜査の積極的な推進
 - ・ 各種捜査支援システムの整備充実

などの諸対策を推進する。

●県民の防犯・防衛意識の向上や違反情報等の収集などを目的とした広報啓発活動を強化し、悪質・巧妙化、複雑化等する犯罪の未然防止、被害の拡大防止を推進する。